

第16回植物生命科学セミナー

16th Open Seminar hosted by the Department of Plant-Biosciences
Faculty of Agriculture, Iwate University

コムギ無細胞系を基盤とした植物ホルモン シグナルネットワークの解析とその応用

Biochemical analysis of plant hormone signaling by a
cell-free based system and its applications

根本 圭一郎 氏

公益財団法人・岩手生物工学研究センター



日時：2018年11月16日(金) 16:30～18:00

場所：総合教育研究棟(生命系)1階 遠隔講義室
(生命系スペースC)

要旨

高等植物のゲノム上には約2万種～3万種のタンパク質がコードされていると考えられており、生命現象のメカニズムを理解するためには、種々のタンパク質機能を明らかにすることが重要である。本講演では、コムギ無細胞系を基盤としたミドルゲノムスケールな生化学的機能解析によって明らかになった、植物ホルモン・ジベレリンやアブシジン酸などの新規シグナルネットワークや、その応用展開の成果について紹介したい。

この4月から岩手生物工学研究センターに赴任した根本圭一郎先生にコムギ無細胞系を用いた植物ホルモンシグナル伝達経路の解析結果や応用の可能性についてお話いただきます。多くのみなさまの参加をお待ちしています。